

# 城南家保ニュース Vol.29-10

熊本県城南家畜保健衛生所

〒868-0042 人吉市蟹作町一本杉 1237-1

TEL 0966-22-3814 FAX 22-3617

メールアドレス [iounankaho@pref.kumamoto.lg.jp](mailto:iounankaho@pref.kumamoto.lg.jp)

ホームページ <http://www.pref.kumamoto.jp/kahojounan>



新年あけましておめでとうございます！



旧年中は家保の実施業務への多大なる御理解と御協力を賜り、誠にありがとうございました。

おかげさまで今年は悪性家畜伝染病の発生もなく、穏やかな正月を迎えることができました。高病原性鳥インフルエンザや口蹄疫など、まだまだ油断はできませんが、今年も総勢11名のスタッフ一丸となり、管内の伝染病予防や生産性向上に全力で取り組んでまいりますので、よろしくお願いいたします。

## 【飼養者・市町村担当者の皆様】定期報告の実施について

今年も2月1日時点における家畜の飼養衛生管理状況の定期報告及び熊本県畜産統計調査の実施の時期が近づいてきました。

これは、家畜伝染病予防法第12条の4に基づく家畜伝染病の発生予防・迅速な対応に資するための調査とともに、熊本県の畜産関連施策に役立てるための**大切な調査**です。

飼養者への調査票配布、調査票への記入ならびに調査票の回収など、関係者の皆様におかれましては、円滑な実施にご協力くださるよう、よろしくお願いいたします。



※【参考】今年の定期報告書の調査票様式は次のとおりです

○酪農・肉用牛は「白色」の用紙

○養豚経営は「青色」、養鶏経営は「黄色」、馬経営は「緑色」、その他の家畜は「赤色」

# 牛の異常産ワクチン予防接種の準備が始まります！

## ワクチン接種によるアルボウイルス異常産の予防について

牛を吸血する蚊を媒介して感染し、異常産を起こすアルボウイルスの多くは、春から夏前に繁殖牛にワクチンを適切に接種しておくことで、蚊が出現する夏から秋にかけて流行があっても、死流産・体型異常など、生まれてくる子牛の異常産を防御できます。

全国で実施しているアルボウイルス動態調査では、例年様々なウイルスの動きが確認されており、予防接種を怠ると異常産が発生しかねない状況です。

今年も1月下旬から2月にかけて、春以降の異常産ワクチン接種希望申し込み調査が行われ、3月下旬からは各市町村で予防接種が始まります。

ワクチンで守れるはずの病気で子牛を失うと、大きな損失となります。予防接種の申し込みはくれぐれもお忘れなく！



**対象** 妊娠牛および年内種付け予定牛、育成牛  
**接種時期** 3月～6月  
**接種回数** 初めて接種する牛は4週間隔で2回、前年に接種している牛は1回  
※ 前年に接種していない場合は、経産牛でも2回する必要があります  
詳しくは家畜保健衛生所または城南地区家畜自衛防疫促進協議会（28-3234）まで

## 近隣諸国における悪性伝染病発生情報

病名	発生地	発生日	畜種	型
口蹄疫	中国	11月21日、29日	牛、豚、羊	O型
アフリカ豚コレラ	ロシア	12月6日（最終発生）	豚 野生いのしし	
高病原性 鳥インフルエンザ	韓国	1月2日（最終発生） 1月4日（最終発生）	採卵鶏 あひる	H5N6

平成30年1月4日時点

### 編集後記 (M.K)

天候も家畜疾病も穏やかだった年末年始、ゆったりお過ごしになられたことでしょう。これも関係者の皆様の疾病予防への取り組みなど、日々の努力のたまものと思います。寝正月を決め込んだ私も、箱根駅伝・高校サッカーなど日々努力している選手を見て、「努力はその時報われるとは限らないが必ずその先の糧になる」と心新たになりました！